

コミュニティの女性とマイクロ・ファイナンス事業 プヘレーティ・ポックヘレル（ネパール）

どの後発発展途上国も同じですが、ネパールでも、非政府組織（NGO）とコミュニティ・ベースの組織（CBO）がこの10年間、女性たちを動員して、コミュニティ活動の中心に据えるべく果たしてきた役割は非常に大きなものです。この間、主に国家5カ年計画に後押しされて認知度が高まったおかげで、ネパールのNGOの数は激増しました。ネパールへき村部のごく普通の女性、以前であれば開発活動家たちの姿を目にすると逃げ出していたような女性たちが、いまや仲間の女性を率いて開発事業に加わっています。真のエンパワーメントを達成するにはまだまだ課題は多いとは言え、ネパールの女性たちへこのような波が広がっていているということはすなわち、たゆまぬ努力をもってすれば女性の発展という大きな目標の実現も可能である、ということの証しでしょう。

ネパールの女性たちが実施し、成功している主なコミュニティ活動は、a) マイクロ・クレジット、b) コミュニティの森林管理、c) 水利管理、d) 保健衛生、e) 栄養・育児、f) 資源再生、g) コミュニティ開発、h) 資産形成、に関連したものです。

ネパールのマイクロ・クレジット事業は、一般的には、収入創出や生計維持の手段を持たない地方コミュニティの女性を対象にしたものです。耕す土地も持たなければ、融資を受ける手立てもない人たちです。女性たちは8~10人のグループに分けられ、能力に応じた収入創出活動が始められるよう、各グループに150USドル（約1,600円）程度までの少額のお金が貸し付けられます。活動内容はヤギやブタの飼育、ニワトリの買付けと販売に向けた飼育、牛乳販売を目的とした搾乳用家畜の飼育、借地での換金作物の耕作、縫製・編物会社の経営などから、喫茶軽食店などの小企業経営にまで及びます。貸付の返済は、平均98%を超える優秀な返済記録が維持されています。分割返済の期日を守る点では、男女混成グループより、女性だけのグループの方がはるかに高いということが調査から明らかになっています。収入創出プログラムはUNIFEM（国連女性開発基金）、USCカナダ、オックスファム、UNDP（国連開発計画）、SAP、PCRW（Production Credit for Rural Women Project）、グラミン銀行、ADB（アジア開発銀行）の支援によるものです。

女性たちは必要性の変化や経験に応じて、活動の内容を切り替える傾向にあることも調査から明らかになっています。例えば、当初女性たちは借入金のお大半（約80%）を家畜飼育や農業活動に注ぎましたが、家畜保険の加入が義務化されると、多くの女性はその掛け金を節約して事業に還元投資するため、同等の収益が上がる別の事業に転じました。また、このおかげで、コミュニティの女性たちにはビジネスに関する洞察力が付き、貯蓄を習慣とするようにもなってきました。グループには毎月20~100ネパール・ルピー（約36~180円）の貯蓄が義務づけられているため、以前であれば、休耕期には経済的にも休眠状態になっていましたが、そのような時期でも資産が構築・維持されるようになってきました。マイクロ・クレジットはまた、公私共に必要があれば比較的簡単に融資を受けることができ

るため、コミュニティの女性たちに強い所有意識と誇りが培われました。マイクロ・クレジットが地方経済に果たしたもう1つの重要な貢献は、経済力のなかった主婦を生産的な役割の表舞台に連れ出したことです。これによって労働力は大幅に改善される結果となりました。

マイクロ・クレジット事業のためにコミュニティの女性をグループ分けした結果、収入創出活動以外のコミュニティ開発活動にも、このグループをうまく動員することができるようになりました。例えば、能力形成や意識啓発のプログラムへもグループで参加しています。ADBによると、プロジェクトに参加している女性の79%以上が、新技術の習得や利用、新技能の体験、就職、資産形成といった形での教育効果を実感しているということです。基礎教育は女性が収入創出活動に参加しようとする動機づけに重要な役割を果たし、職業訓練や経営技能の教育によって、融資をうまく利用する能力が高まりました。

全体として、マイクロ・クレジットは、コミュニティの女性たちがグループを組織し、収入創出活動ばかりかコミュニティ開発事業にまで携わる舞台を提供してきましたが、今後の持続可能性のためにはいくつかの点に配慮する必要があります。その1例として、あるプロジェクトが終了した後でも、グループの活動を見守る必要があります。そのために、例えば、関連グループを協同組合組織へ組み込んでいくという方法もあるでしょう。女性メンバーのほとんどは読み書きができず、基礎教育の下地がないため、能力形成の取り組みを定期的に行っていく必要もあります。同様に、適切な横断型ネットワーク、あるいはマイクロ・ファイナンス事業と他のコミュニティ開発事業との連携を維持していくことも、コミュニティの女性たちの社会的・文化的・経済的な権利全般を確立するためには重要なことです。